

篠中だより 9月号



校訓 『智』 『想』 『誇』

一人ひとりの自己実現(かなえる)に向けて

自律

自分で考え、よりよく判断し、行動できる人

令和6年9月13日	
篠栗町立篠栗中学校	
校長 早川 昌吾	
生徒数	629名
1年生	194名
2年生	226名
3年生	209名

2学期始業式「自律(自己指導能力)できる人」をめざしましょう

長い夏休みが明け、台風によって4日遅れで学校が再開されました。9月2日の始業式の校長講話では、このような話をしました。

- ◆今年、篠中の皆さんに、「つながる・ささえる・かなえる」視点で考えることを通して、「**自律**」できる人になる、という目標に向かって取り組んでもらっています。
- ◆「自律」とは、『**自分で考え、判断し、行動できる人**』になってほしい、ということでしたが、今日は「自律できる人とは？」ということについて、一緒に考えてみましょう。
- ◆どうでしょう皆さんは、「みんながそうするから」、という理由だけで、自分らしく判断することからかけ離れた行動や判断をした経験がありませんか？
- ◆「みんなが…」という周りに合わせることで、時には、仲間の間で、「やる意味ない」なんていう言葉に同調して、面倒なことから逃げたり、時には、仲間の間で、「あの人、メンドクサクない？」なんていう言葉に同調して、さして嫌いでないのに、避けたりと、
- ◆なぜ、人は、同調するのでしょうか？
- ◆同調したほうが楽だからでしょうか？ 同調しておかないと、自分が次のターゲットになりかねないからでしょうか？
- ◆皆さんの頭と心で、考えてみてください。
- ◆私は、どんな行動をするのか、判断する時に大切なことは、「**その行動をする自分のことが、本当に好きか、どうか**」だと思います。
- ◆「みんながそうするから」という判断では、自分の判断を「人任せにして、自身の思考を停止させる」ことになるし、失敗したときの心のチクチクは消えません。
- ◆そして、もう一つの大切な判断基準があると思います。それは、みんなは、「**何のために学校に来ているのか**」ということです。
- ◆**学校とは、「社会でよりよく生きていくため」に必要な力や、見方・考え方を学ぶところ**です。全員と仲良くなる、なんてことが最上位の目的や目標ではありません。
- ◆その前提の基に、関わる相手との適切で、自分らしい距離感をもてるのが、大切であり、それが皆さんの心の安定につながります。600人以上の他人が同じ空間にいるのですから、トラブルも必ず起こります。大切なのは、そのトラブルから正しく学び、自分自身が成長できるということであり、その後の人生に大きな影響を与えます。
- ◆このように、「みんなが～」という基準で判断するよりも「自分が好きな自分なのか」、そして「学校は、何のために行くところか」という**二つの判断基準を基に、『自分で考え、自分で判断し、行動できる人』**にどれだけ近づけたのか、ということが「自律」できている、ということです。
- ◆今日から一番取り組みが多く、充実させるべき2学期が始まります。いつもの、「ル・ル・ル(つながる・ささえる・かなえる)」の視点で常に考え、振り返り、「周りとの関係を保ちつつ、自分らしく生きていくこと」について、自分自身と対話する、そんな充実した2学期にしてほしいと思います。



そして、各学年の代表生徒と生徒会役員から二学期に向けての思いを話してくれました。今回は、1年生代表の明松さんの「2学期に頑張りたいこと」を紹介します。

1年生代表 **明松**さん

(中略)一学年はふれあい教室に向かいます。一人ひとりが自分の役割を持ち、自分たちで作り上げなくてはなりません。(中略)この数か月、実行委員の一員として活動してみて考えたことがあります。それは、リーダーはチームの中でどのような存在なのか、ということです。(中略)今は、みんなの後ろに立ち全体を支え、サポートすることも大切なリーダーの姿なのだなと思うようになりました。そして、そのリーダーにフォロワーがついてきてくれるからこそ集団がチートして成り立ち成長できるのだと学びました。(中略)全員がお互いを大切にしながら集団としての力を高め合っていきたいと思っています。



2年廊下の掲示物

各代表が『充実した2学期にしたい』という想いを自分の言葉でしっかりと伝えていました。そして、フロアで話を聞いている生徒の皆さんの姿に、私は『**温かさ**』を感じました。どんな姿かという、話してくれている相手の顔を見て聞くという姿(行動)です。この姿(行動)は、「相手のことを大切にする」という表れであり、「**仲間を支え、尊重することができている**」ということです。

また、この行動は、「**仲間から自分も大切にしてもらえる**」ことにも必ずつながると思います。

さらに、私は「この姿は、篠中の**温かさのバロメータ(できている基準)**になるなあ」とも思いました。ぜひ、この姿を継続させてほしいと思います。

より良い学校生活を自分たちで創るという「自律」と「自治」をめざして



始業式後、生徒会主導で全校集会を開き、2学期に向けて各専門委員長から取組に重点や心がけてほしいことについて呼びかけられました。

先に述べましたが、我々がめざす姿は、「自分たち(生徒自ら)で考え判断し行動できる」という、自律です。篠中のみんなが任された役割において呼びかけ、それに対して周囲がしっかりと応えること、それが日常で意識して実践する「つながる・ささえる・かなえる力」です。みんなで選んだリーダーの呼びかけにしっかりと応えることができる仲間意識を持って、2学期の学校生活を安心・安全で充実したものにしたいと思います。



3年生にとって最後の中体連、よく頑張りました、お疲れ様でした

中体連・コンクール 団体 成績			
	糟屋区大会	筑前地区大会	福岡県大会
バレー (男子)	4位	惜敗	
バレー (女子)	惜敗		
バスケット (男子)	惜敗		
バスケット (女子)	惜敗		
野球	4位	ベスト8	
ソフトボール	優勝	惜敗	
サッカー	惜敗		
ソフトテニス (男子)	8位		
ソフトテニス (女子)	4位		
陸上 (男子) 団体	惜敗		
陸上 (女子) 団体	惜敗		
柔道 (男子)	準優勝	優勝	惜敗
柔道 (女子)	優勝	準優勝	惜敗
剣道 (男子)	惜敗		
剣道 (女子)	惜敗		
卓球 (男)	優勝	ベスト8	
吹奏楽 (男女)	地区中学生吹奏楽部コンクール 銀賞		

2024年における部活生の「熱い夏」が終わりました。どの部も本当に最後までよく頑張りました。その頑張りを見ていると、こちらまで心が沸き立つような思いにさせられました。

その中でも柔道部は本当に惜しかった。4対5という一人少ない状況での県大会団体戦。予選リーグあと1勝で決勝トーナメントという中、相手をあと少しまで追い込みましたが、惜敗。しかし、その戦いぶりは最後まで攻め続ける闘魂を見せつけてくれました。感動しました。いいものを見せてくれてありがとうございます。



中体連・コンクール 個人 成績				
部活動名	個人	競技種目	糟屋区大会	筑前地区大会
柔道	[Blue Box]	柔道 女子階級別	優勝	優勝
		柔道 女子階級別	優勝	準優勝
		柔道 女子階級別	優勝	
		柔道 男子階級別	準優勝	
		柔道 男子階級別	優勝	準優勝
		柔道 男子階級別	優勝	準優勝
放送局		アナウンスコンテスト：朗読部門	奨励賞	

